

岩美町下水道事業経営戦略の見直しについて【概要版】

1. 経営戦略見直しの概要

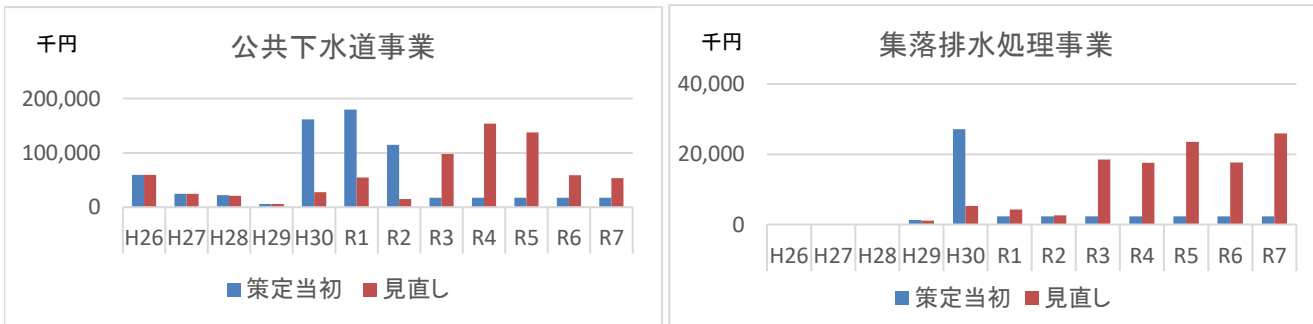
中長期的な経営の取組みや財政収支の見直しなどを明らかにするため、平成29年3月に目標年次を平成37年度とする「岩美町下水道事業経営戦略」を策定しました。

同経営戦略は毎年度進捗管理を実施し、PDC Aサイクルで5年毎の見直し、又は計画の前提条件の変化が生じた場合には随時見直すこととしております。

最新実績データに補正するとともに、当初計画では計上していなかった、営業費用（公営企業法適用事業）、建設改良事業（公共下水道事業ストックマネジメント計画、集落排水処理施設更新計画）、資本費平準化債の借入などを反映させ、投資・財政計画（収支計画）の見直しを行いました。

2. 投資、財政計画の見直し

(1) 建設改良費の比較

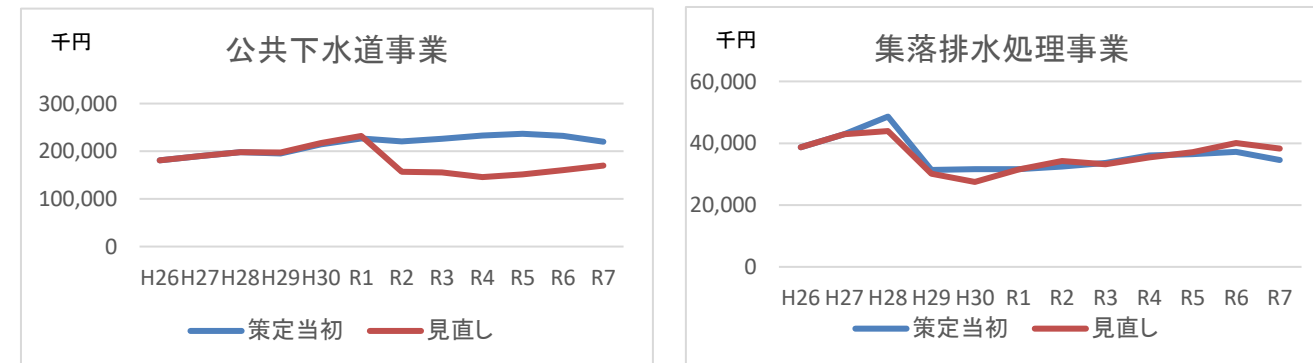


集落排水処理事業 マンホールポンプ更新計画

処理区	事業内容	R3	R4	R5	R6	R7	計
長白谷地	通報装置取替工事	15,932					15,932
	水位計・ポンプ取替工事		14,944	20,940			35,884
東	通報装置取替工事				15,040		15,040
	水位計・ポンプ取替工事					23,340	23,340
事業費		15,932	14,944	20,940	15,040	23,340	90,196

施設老朽化対策の計画変更（対象施設拡大、計画期間延長）に伴い、経営戦略計画期間内の事業費ピークの見直しを行いました。

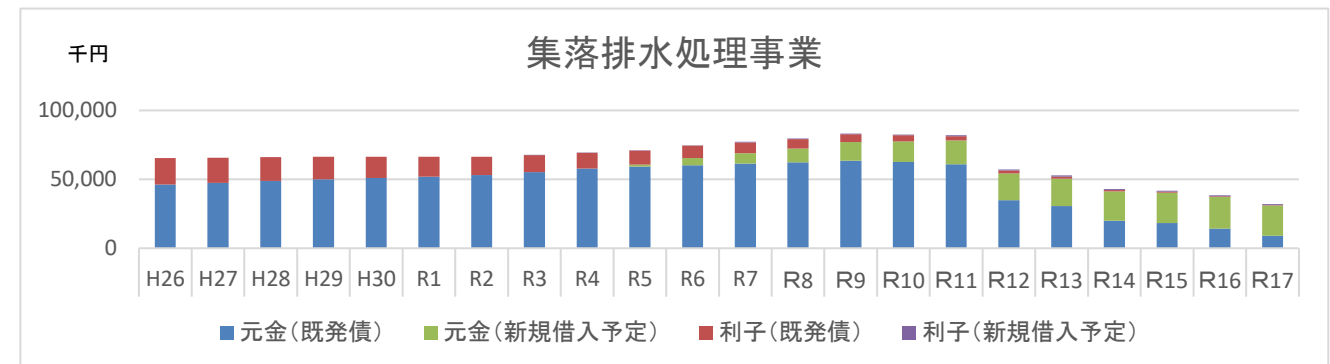
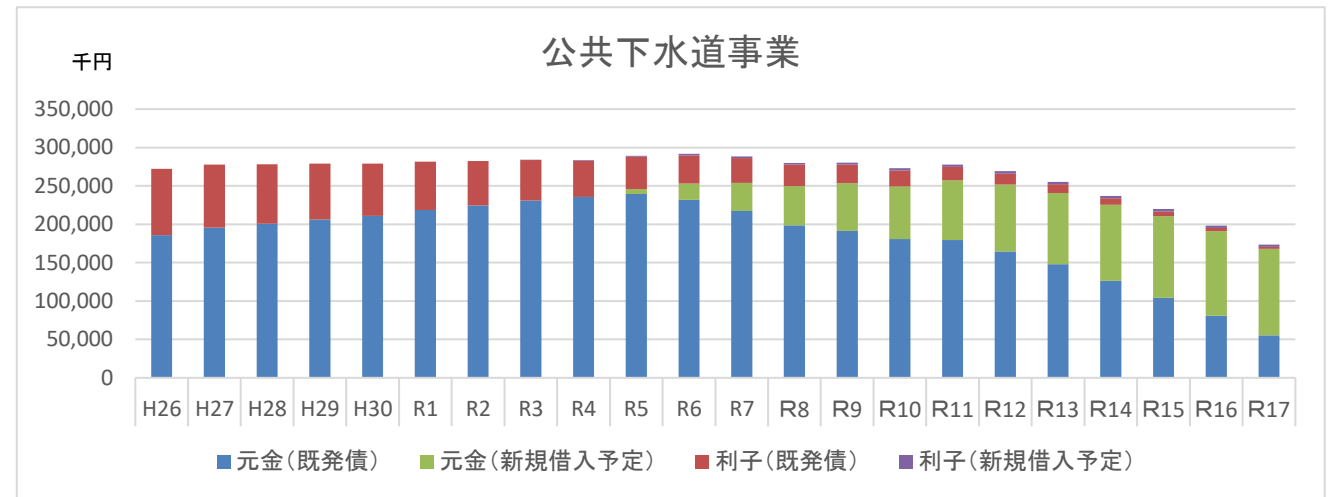
(2) 収益的収支の推移



公共下水道事業：令和2年度より資本費平準化債の借入を行うため、一般会計繰入金の減少を見込んでいます。（後年度元金償還額の一部を繰入）

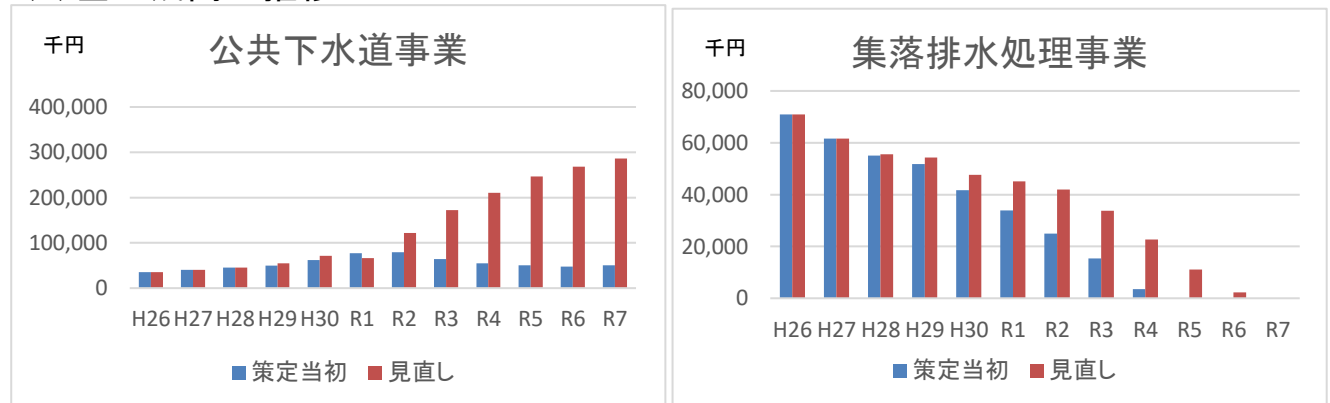
集落排水処理事業：実績補正により、消費税増税及び人口減少速度の鈍化による料金収入増などによる営業収益の増、維持管理経費減による営業費用の減を見込んでいます。

(3) 地方債償還金の推移



公共下水道事業・集落排水処理事業：地方債償還元金については、新規借入により令和5年度より増加しますが、順次、既発債の償還終了を迎え、令和12年度以降減少が見込まれます。

(4) 基金残高の推移



公共下水道事業：資本費平準化債の借入により、公営企業化される令和6年度には約3億円まで増加する見込みです。

集落排水処理事業：実績補正により、基金残高の減少を2年延伸されましたが、令和7年度には基金残高が底をつき、財源不足分を基準外繰入にて計上しております。

3. 経営戦略の検証

将来にわたって安定的に事業を継続していくため、毎年度進捗管理を実施し、PDC Aサイクルを活用し管理していきます。

概ね5年毎に経営戦略の改定を行いますが、計画の前提条件の変化が生じた場合には随時見直しを行います。